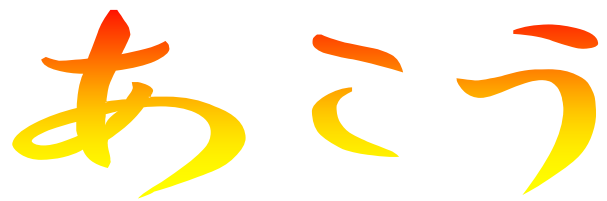




上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信



上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたこころあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

FAX : 0969-62-1547(直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122(代) FAX: 0969-62-1546

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール : kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠

創立50周年記念

第33回上天草総合病院学会を開催しました

平成27年2月14日(土)に創立50周年記念第33回上天草総合病院学会を行いました。今回は創立50周年記念講演として熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学分野教授 興梠博次先生より「知って役立つ呼吸器疾患の知識 ～肺癌、COPD、喘息、肺炎～」を分かりやすくご講演して頂きました。さらに熊本大学リーディング大学院「HIGOプログラム」の学生による「2014年上天草行政インターンシップ成果報告」では、実際に住民の方々にアンケートを実施し、それを基にいろいろな職業の方々とディスカッションすることでHIGO学生からの視点で地域医療に目を向けてあり、上天草市の地域医療の現状を把握することができ、当院のこれからの活動に生かしていきたいと思えます。院内外から多くの方に参加して頂き今までにない病院学会を開くことができました。

プログラム

最優秀演題

優秀演題

特別賞

I. 開会挨拶 (8:30～8:35)

きららの里施設長 福田 誠

II. 演題発表

第一群 (8:35～9:19 うち質疑応答15分)

座長 (事業副管理者 蓮尾友伸)

1. 心肺運動負荷試験 (CPX) で運動耐容能の低下を評価できた症例 検査科 ○木下 博登
2. 腹部超音波検査が契機となって診断した大腸癌の1症 検査科 ○房木 明里
3. 当院におけるMRSA環境調査 ～標準予防策の徹底の必要性～ 院内感染対策委員会 ○寺本 和功
4. 医薬品の安全性とそれをめぐる制度について再認識したこと 内科 ○坂本 興美
5. 僻地診療所で救急搬送になった1例 八代市立椎原診療所 ○村本 啓

第二群 (9:19～10:10 うち質疑応答15分)

座長 (2病棟主任 東矢道子)

6. 統合看護演習の3年間の取り組みと課題 看護学校 ○山下 利香

7. 電子カルテ導入における医事業務改善

医事課 ○濱崎 菊枝

8. 電子カルテ導入における待ち時間の効果と満足度 ～外来アンケート満足度調査～ TQM委員会 ○東矢 義光

9. 呼吸器装着患者の自立への援助 ～ADL拡大が著しくみられた一症例～ 2病棟 ○平井 智美

10. 「都市伝説の解明 ～月の満ち欠けと死亡の因果関係～」 内科 ○和田 正文

ポスター演題一覧

- P1 外来クラーク配置で収益は上がり、労働時間は短縮し、患者満足度は上昇する 代謝内科 ○山城 武司
- P2 血圧と肥満の関係 健康管理センター ○堀江 千恵
- P3 情報管理室における新しい体制加算取得への取り組み 情報管理室 ○小松田 美十江
- P4 転倒リスクに及ぼす薬の関係性 ～薬剤師の視点から～ 薬剤科 ○中村 有紀
- P5 投書に関する意識調査 ～患者・職員へのアンケート調査から見えてきたもの～ 地域医療連携室 ○森口 留美
- P6 糖尿病透析予防指導の取り組み (減塩編) 糖尿病透析予防チーム ○山下 真奈美
- P7 転倒・転落に対する職員の意識調査 ～転倒転落アセスメントシートを作成して きららの里 ○山中 恵理香
- P8 当院における電子カルテ導入の効果と今後の課題 情報管理室 ○森口 元気

III. 特別プレゼンテーション (10:35～10:55)

座長 熊本大学大学院 教授薬学部副学部長 入江 徹美
2014年 HIGOプログラム行政インターンシップ in 上天草成果報告 上天草市の医療をより良いものにするためには? ～健康診断受診率を向上させるための新しい取組みの提案～ 熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO

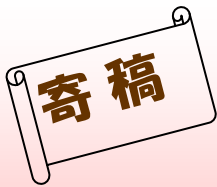
IV. 50周年記念特別講演 (11:00～12:00)

座長 上天草市立上天草総合病院 事業管理者 樋口 定信
「知って役立つ呼吸器疾患の知識 ～肺癌、COPD、喘息、肺炎～」

熊本大学大学院生命科学研究部

呼吸器内科学分野 教授 興梠 博次

V. 講評 (12:00～12:05) 病院長 坂本 興美



村上医院

院長 村上 真人 先生

住所 熊本県上天草市姫戸町姫浦2528-6

電話 0969-58-3 102



拝啓

はや立春は過ぎましたが厳しい寒さが戻っています。皆様、いかがお過ごしでしょうか。福田先生より今回「あこう」に寄稿するようご指名がありましたので筆をとっています。

私は、昭和61年より姫戸町で開業しています。父、一保が開業していた場所で2代目です。昭和61年診療所建設中、数ヶ月間でしたが上天草総合病院に非常勤で勤務させていただきました。その後、すぐに樋口先生が着任され、大村先生、国立三角病院の青木先生達と合同勉強会をしていた事を思い出します。上天草総合病院が開放型病院となった時、登録医となり、当院が在宅療養支援診療所（有床）になった時、協力病院をお引き受け頂き、平成25年には天草メディカルネットへの参加医療機関としての関わり等、ますますお世話になる事も広く深くなってきました。いつも気持ちよく応対して頂き、職員一同深く感謝しています。

平成12年介護保険開始後、当院では以下の施設を増設してきました。

グループホーム 諏訪の森（二間戸）、ファミリー倶楽部（合津）、小規模多機能型居宅介護 石蔭の郷（姫浦）、有料老人ホーム ヴィラパークしらたけ（姫浦）、ケアタウン風花（姫浦）
自立から要介護5までの方の入居利用等可です。
又、デイサービス風花、デイケア（村上医院リハビリ室）、ひまわりヘルパーステーションひまわり居宅介護支援事業所等も行っています。病院、老健等の退院後、御用の節はお声をかけて下さい。精一杯勤める所存です。

平成25年6月に医療介護総合確保推進法が決まり個々の事業所単独では、在宅サービスがうまくいかない社会制度になりつつあります。地域住民の為に、より良い医療介護サービスが提供できるよう今まで以上に、連携を密にしていければと考えています。上天草総合病院及び、地域の医療、介護、施設の皆様と共に仕事をしていきます。

よろしくお願い申し上げます。

敬具

上天草総合病院の皆様へ

2015年2月13日

第1回天草摂食嚥下研修会を開催して

言語聴覚士 林 亜星



去る2月7日、松島総合センターアロマ大ホールにて、第1回天草摂食嚥下研修会を開催しました。

『摂食嚥下』とは、食物を口に運び飲み込むことを指しますが、高齢や病気になるとその能力は衰え誤嚥性肺炎（食べ物が誤って肺に入って起こる肺炎）を引き起こす原因になります。今回の研修は天草地域で医療・介護に従事する方にこの摂食嚥下に関する知識と技術を身につけてもらい、地域に暮らす方の生活をより安全安心なものにしたいとの思いから当院の摂食嚥下チームが主体となって企画開催したものです。

研修では当院歯科の福田敏博先生による特別講演『嚥下内視鏡検査の実際』をはじめ、嚥下のメカニズムや嚥下障害に対する訓練法、また食事の際の姿勢の重要性や適切な食事介助の方法などについてスライドや動画、デモンストレーションなどを交えながら合計5題の講演を行い、参加した方からは「勉強になった」「施設に帰って利用者に実践してみた

い」など多くの嬉しい反応が得られました。また講演の合間には本研修会を後援して下さった2つのメーカーの出展ブースにも多くの方が集まり、新製品の説明に耳を傾け、パンフレットやサンプルを手取る姿が見受けられました。

当日は寒さ厳しく、また午後からは小雨がぱらつくあいにくの天気でしたが、上天草市内外から100名弱の参加者があり、盛況のうちに研修会を終えることが出来ました。一方で日程の調整や案内の方法などについて多少の混乱があったので、今回の反省を活かし次回以降の研修会がよりスムーズに開催できるよう、またより多くの方に参加して頂けるよう努力していきたいと思えます。

最後に、今回の研修会をお手伝いして下さった皆さん、大変ありがとうございました。



食事の際の姿勢について実演

上天草地域婦人会 熊本県社会福祉功労受賞

上天草市地域婦人会 会長 荒木 ミドリ

平成27年2月3日上天草市地域婦人会が熊本県社会福祉功労表彰を戴きました。これは、県内で社会福祉の向上に特に著しい功績があった人、団体に対して贈られる表彰です。

私達、地域婦人会はイベントボランティア・施設訪問など多岐に渡り活動し、平成19年7月より上天草総合病院内ボランティアが評価されての表彰でした。

病院ボランティアを始めて今年の7月で8年になります。当時、院長だった樋口先生から病院ボランティアの相談がありました。全国的に自治体病院の経営状況の悪化で破綻するニュースがテレビや新聞等で報道があるたびに心を痛めて、生き残りを賭けた病院側の苦労を肌で感じ、地域と病院をつなぐ大きな存在が病院ボランティアではないかと尾上前会長が立ち上がり「今こそ自分たちに出来ることをお手伝いしたい」、それがボランティアの始まりでした。参加者を募り81名での活動を始め、いつまで続くかと不安でしたが、年々参加者が増え、現在では186名で活動しています。今年に入り、大矢野町中地区の婦人会がボランティアに参加して下さることになりました。

「つなぎ合う、ちふれの会」は、姫戸町の上野前会長が8年前に付けられた会の名称です。素晴らしい

い前会長たちが残された活動を皆でしっかり引き継いでいきたいと思います。「継続は力なり」さらに充実した地域にとって大切な病院、地域と病院をつなぐ大きな架け橋になればと願っています。

この度の表彰は、ボランティアを続けている会員の皆さんの励みとなり、これからも皆で力を合わせて頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、いつも温かい感謝の言葉をかけて下さる先生、職員の皆さんに心から感謝しています。そして、こんな素晴らしい活動の場を与えて下さった事業管理者樋口先生、尾上前会長に心からお礼申し上げます。

会員、皆で戴いた功労賞を励みにこれからも地域医療の大切さを伝えていきたいと思います。



研修会・勉強会の行事予定表

3月4日(水)	S-QUE院内研修1000'Eナース 「摂食・嚥下訓練の進め方実践 ～口から食べるリハビリテーション」 講師；小山 珠美 氏 (東名厚木病院 摂食嚥下療法部部长)	17:40～ 当院6階講堂
3月10日(火)	マザークラス お産の経過と呼吸法について	13:30～ 当院6階講堂
3月18日(水)	S-QUE院内研修1000'Eナース 「褥瘡管理の最前線」 講師；小柳 礼恵 氏 (東大附属病院看護 皮膚・排泄ケア認定看護師)	17:40～ 当院6階講堂
3月20日(金)	糖尿病・心臓リハビリテーション教室 ・心肺蘇生法について 講師；副院長兼循環器内科部長 脇田 富雄 代謝内科部長 山城 武司 看護師 片川 泰子	13:15～ 当院6階講堂
3月27日(金)	特別講演 S-QUE院内研修1000'Eナース 「平成27年展望 これからの医療を語る、これからの看護を語る」	17:00～ 当院6階講堂

医療施設の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については、地域医療連携室『TEL0969-62-1122 (代表)』までお問い合わせ下さい。

編集後記

○病院に隣接する看護学校は建て替えのため解体工事が進んでいる。無残に壊された建物のそばに今が盛りと梅の花が咲いている。春が近づき、人も往来の時期を迎える。(福田)

3月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
内科 (代謝内科 消化器内科 呼吸器内科) 新患担当	樋口 定信 坂本 興美 和田 正文	大村 信正 和田 正文 山城 武司	坂本 興美 大村 信正	樋口 定信 和田 正文 山城 武司	坂本 興美 山城 武司	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	
※ペースメーカー外来は(3、6、9、12月)に行います。						
小児科	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	25日(水)~ 4/3日(金)
外科・肛門外科 消化器外科	福田 誠	城野 英利	福田 誠 ／ 蓮尾 友伸	城野 英利	蓮尾 友伸	
整形外科	藤松 晃一	上原 悠輔	藤松 晃一	【午後2時~】 森山 弘朗 (久米慎一郎)	藤松 晃一	27日(金)
※毎週木曜日(予約制)は午後2時から午後5時まで診察を行います。						
産婦人科	姫野 隆一 桑原 三郎	桑原 三郎	姫野 隆一 桑原 三郎	姫野 隆一 桑原 三郎	姫野 隆一 (桑原 三郎)	
耳鼻咽喉科	—	熊大	—	—	熊大	20日(金)
眼科	粟井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	
※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。						
皮膚科	—	—	—	尹 浩信	—	
泌尿器科	—	小川 愛一郎	—	—	—	
超音波・ 内視鏡センター	蓮尾 友伸 城野 英利 國友 耕太郎	福田 誠 蓮尾 友伸	城野 英利 和田 正文	福田 誠 蓮尾 友伸	福田 誠 城野 英利 下村 茉希	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、1時~4時30分まで受付けます。						
教良木診療所 応援	大村 信正	坂本 興美	樋口 定信	応援	國友 耕太郎	
御所浦診療所応援 午前	竹下 哲二 山城 武司 (第2・4)	下村 茉希		—	樋口 定信 (大村 信正)	
午後	—	下村 茉希	—	—	(樋口 定信) (下村 茉希)	
御所浦北診療所 応援 (午後のみ)	樋口 定信 (第1・3) 山城 武司 (第2・4)	—	—	大村 信正	—	

※診療受付時間は午前8時30分~11時30分まで行います。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※内科は、火・木の午後5時~午後6時の診療は**予約の方のみ**となります。

※木曜日の内科山城医師の外来は午前と午後3時~午後6時まで診療を行います。